

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	岩手
-------	----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	一関市立 南小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	3	3	3	3	2	21	33
児童数	117	125	108	98	99	113	6	666	

研究の概要

1. 研究主題

算数科における個に応じた指導 ~ T T 指導を中心に ~

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

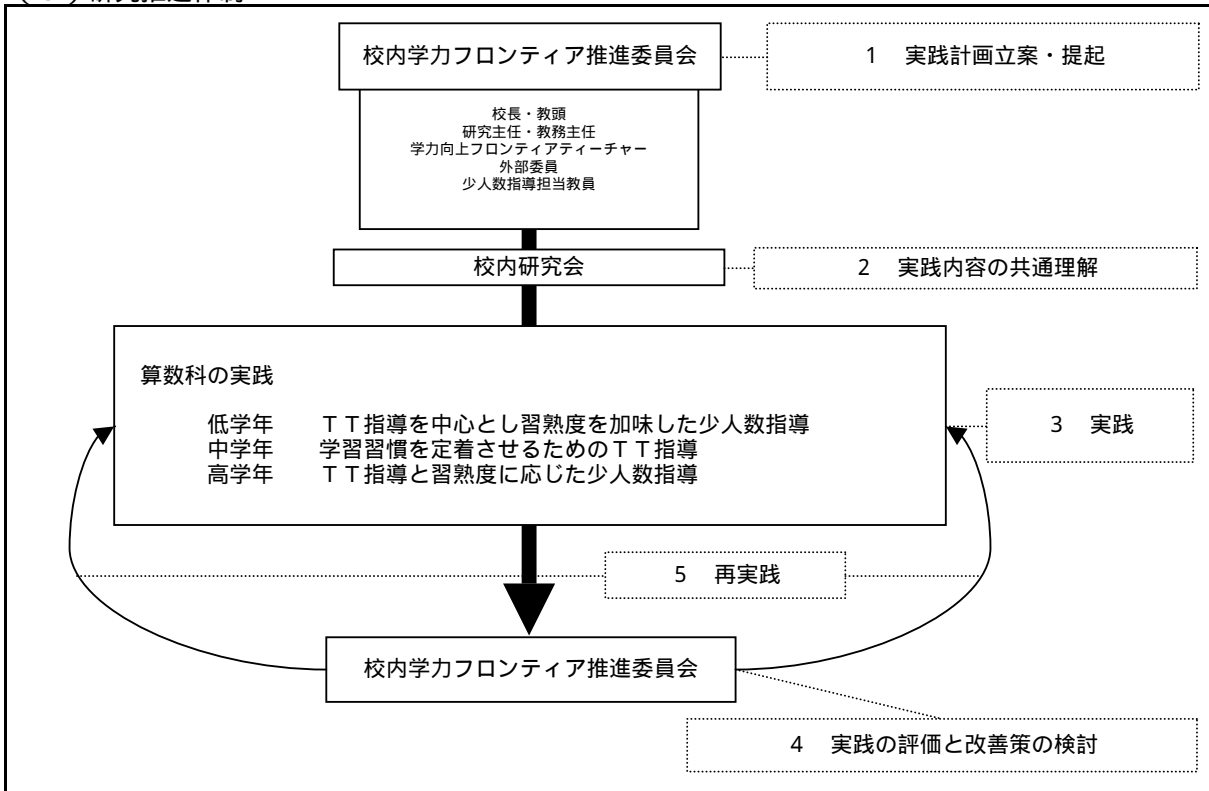
全学年 算数

学校として、研究実績のある当該教科に関する T T 指導の実践を、さらに深めるため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	テーマ 研究の見通し	個に応じた指導体系を探る。 低学年を中心に個に応じた指導体系を工夫し実践する。 効果的な指導体系を確立する。
	研究の内容・方法	T T 指導を中心として、さらに個に応じた指導を深めるための少人数指導の在り方を、低学年を中心に探っていく。単元末ワークシートや C R T を中心にその効果を評価し、さらに工夫を重ねる。
平成 16 年度	テーマ 研究の見通し	個に応じた指導体系を確立する。 算数科の学習において、次のような手立てを講じれば、確かな学力を付けることができるであろう。 基礎・基本を明確にし、学習指導過程を明確にする。 T T 指導・少人数指導など個に応じた指導の工夫をする。
	研究の内容・方法	T T 指導を中心として、さらに個に応じた指導を深めるための少人数指導の在り方を、各学年の発達段階・児童の実態・単元の特性等に配慮しながらまとめ、実践し、全校の指導体系を確立する。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

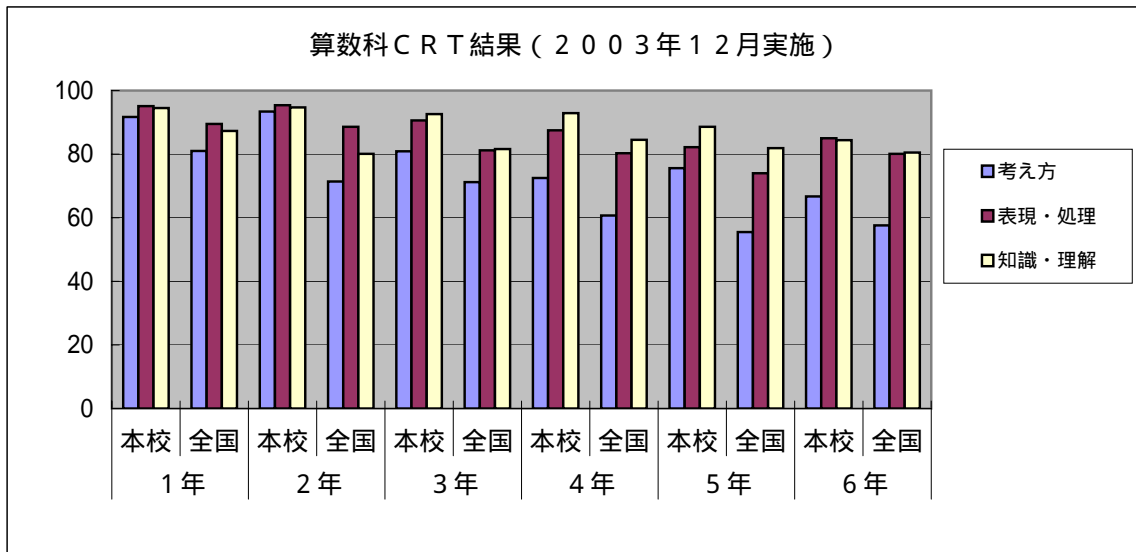
(1) 個に応じた指導形態を工夫し実践

- ・ 基礎的な学習習慣を定着させるためのTT指導、習熟の程度を加味した少人数指導等の個に応じた指導形態を工夫し実践することができた。
- ・ 中・高学年では、TT指導を中心に授業を展開し、昨年度まで築き上げてきた指導形態をさらに充実させることができた。
- ・ 低学年(第2学年)では、授業の前半をTT指導、後半を習熟の程度に応じた少人数指導で展開し、児童の学習意欲と実態に応じたきめ細かな指導を実践することができた。
- ・ 上記の少人数指導を、高学年で単元を抽出して実践することができた。
- ・ 視聴覚・PC機器を活用して、児童の関心を高めながら学習課題の解決に迫る活動を創り出すことができた。
- ・ 習熟の程度に応じた少人数指導では、「自信があるから自分でどんどんプリントを進めるコース」と「もう一度じっくり先生と一緒に学習を進めるコース」の2つから児童に選択させて、オープンスペースを活用し2グループに分かれての授業を展開した。その際、「みんなで合意してから2つのコース分かれる」「自分でコースを選択する」「いつでもコースを変えられる」「他人に迷惑をかけない」の4点を児童と約束し、差別的な雰囲気を生み出さず、より積極的に児童が学習に取り組めるよう配慮した。
- ・ 少人数指導で使用する学習プリントは、その時間で学んだ内容を一通り再確認できる流れで作成し、合わせて繰り返し練習できるドリル的な問題、前時までの復習問題、応用力が試される発展的問題等を盛り込んだ。さらに、より多くの学習への挑戦を希望する児童のために、様々な単元の発展問題に自由に挑戦できるコーナーを別に設け、45分授業の最後まで意欲的に学習に取り組めるよう工夫した。

学力等把握のための学校としての取組

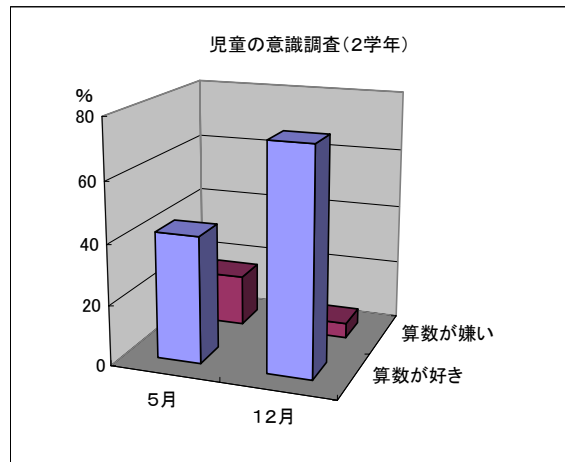
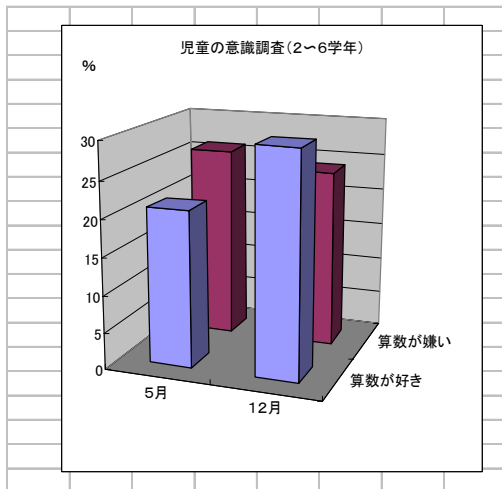
1. CRTの結果から

- ・ 12月実施の算数科CRT結果は、以下のグラフに示す通り全学年全領域にて全国平均を上回ることができた。



(2) 児童の意識調査から

- ・ 6月と12月に実施。「好きな教科」と「きらいな教科」をそれぞれ3つずつ理由のコメントをつけながら児童全員(第2学年以上)に無記名で答えてもらった。
- ・ 「算数が好き」と答える児童が増加し、「算数が嫌い」と答える児童が減少した。特に、習熟の程度を加味した少人数指導に取り組んだ第2学年では、その傾向が顕著に現れた。



フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 地域のフロンティアスクール間で合同の研究会をもちながら、お互いの成果を交流していく。
- ・ 授業を積極的に参観し合う。
- ・ 一日授業参観を設け、算数科の授業を中心に実践的な取組を地域に公開する。
- ・ 校報や学年通信にて、授業の取組方針や状況を知らせる。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | | |
|----------------------|--|---|----------|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校
6学級以下
13～18学級
25学級以上 | 14年度からの継続校
7～12学級
<input checked="" type="checkbox"/> 19～24学級 | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
一部教科担任制 | <input checked="" type="checkbox"/> T Tによる指導
その他 | |
| 【研究教科】 | 国語 社会
生活 音楽
体育 その他 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数
図画工作 | 理科
家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 |

	考え方	表現・処理	知識・理解
1年本校	91.7	95.1	94.5
1年全国	81	89.5	87.3
2年本校	93.4	95.4	94.7
2年全国	71.4	88.6	80.1
3年本校	80.9	90.6	92.6
3年全国	71.2	81.2	81.6
4年本校	72.5	87.5	92.9
4年全国	60.7	80.3	84.5
5年本校	75.6	82.2	88.6
5年全国	55.5	74	81.9
6年本校	66.7	85	84.4
6年全国	57.6	80.1	80.5

算数科C R T結果(2003年12月実施)

